

行方市農業集落排水事業 経営戦略 概要版

1. 経営戦略の目的

行方市では、榎本地区及び玉造北部地区の2地区で農業集落排水事業を実施しています。平成3年に供用を開始して以来、施設の整備・維持管理に努めてきました。また、令和2年4月1日には、効率的な事業運営を実施するため地方公営企業法を適用し、会計方式を官庁会計から公営企業会計へ移行しました。

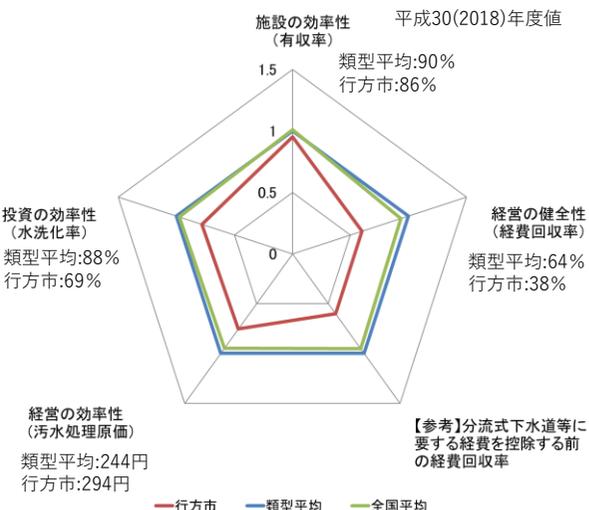
現在、資産の老朽化に伴う更新時期の到来や、人口減少等に伴う使用料収入の減少など、農業集落排水事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。行方市においても、将来にわたって事業を継続させるため、現況の把握、課題の抽出、将来見通しとそれに対する取組を取りまとめた「経営戦略」を策定し、これに基づく計画的かつ合理的な経営を行うことにより、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を実現することを目的とします。



2. 農業集落排水事業の概況

行方市の農業集落排水事業の現況を把握するため、「事業効率性」を全国平均、類似団体平均と比較しました。なお、事業効率性は「施設の効率性」の指標として**有収率**を、「投資の効率性」の指標として**水洗化率**を、「経営の効率性」の指標として**汚水処理原価**を、「経営の健全性」の指標として**経費回収率**を設定しています。

個別事業効率性の類型平均、全国平均との比較



※類型平均を1とした時の比較
 ※外側ほど効率が良い

有収率

年間で処理した水量のうち、使用料の対象となった水量の割合。高いほど効率が良い。

水洗化率

農業集落排水事業の管路が整備された区域に住む人のうち、実際にその管路に接続している人の割合。高いほど効率が良い。

汚水処理原価

汚水処理にかかった費用を有収水量で割った1m³あたりの単価。低いほど効率が良い。

経費回収率

使用料で賄うべき経費に対する使用料収入割合。高いほど効率が良い。

【経営の健全性・効率性】

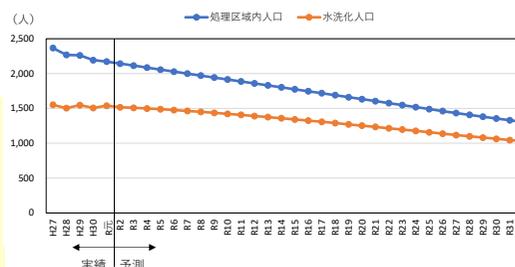
- ・経費回収率が100%を大きく下回っています。類型平均と比較しても低い水準となっていて、汚水処理にかかった費用を使用料収入で賄えていない状況です。
- ・汚水処理原価が類型平均と比較して高額となっています。効率的な維持管理等により、コストの削減を目指す必要があります。

【施設の効率性】

- ・有収率は類型平均と比較して若干低い水準にあります。不明水が混入している可能性があるため、計画的に不明水対策を進めていくことが望まれます。
- ・水洗化率が類型平均と比較して低い水準にあります。個別訪問等により接続の推進を図る必要があります。

3. 農業集落排水事業の将来見通し

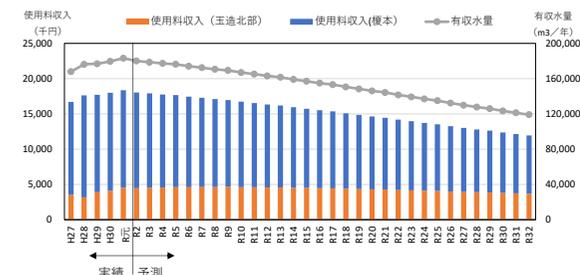
3-1. 処理区域内人口・水洗化人口



農業集落排水事業の整備は完了しているため、処理区域内人口は行政人口と同じ割合で減少することが見込まれています。令和元(2019)年：2.2千人⇒令和12(2030)年：1.9千人(約14%減)

また、水洗化人口は玉造北部地区で水洗化率の上昇が見込まれることから、処理区域内人口より緩やかな減少となる見通しです。令和元(2019)年：1.5千人⇒令和12(2030)年：1.4千人(約10%減)

3-2. 有収水量・使用料収入



有収水量は水洗化人口の減少に伴い、減少することが見込まれています。令和元(2019)年：183千m³/年⇒令和12(2030)年：163千m³/年(約11%減)

また、使用料収入は、玉造北部地区では水洗化率が上がることにより、現況と同等の収入が見込まれますが、榎本地区では減少が続くことから、全体として使用料収入は減少する見通しとなっています。令和元(2019)年：18.4百万円⇒令和12(2030)年：16.3百万円(約11%減)

3-3. 今後の投資・維持管理計画

今後の投資・維持管理計画について、財政収支見通しへの反映方針を以下に示します。

既存管きよ	健全度の低下した路線を改築更新するものとして、更新費用を平準化して計上する。(更新費用は実績から算出)
マンホールポンプ	実績改築工事費から物価上昇(または下落)分を加味して現在価値化した額を計上する。
処理場	榎本浄化センターは平成30(2018)年から令和元(2019)年に改築更新を実施済みのため、当面は更新費用は計上しない。 北部浄化センターは供用開始から30年が経過するタイミングで広域化を推進するため管路整備費用を計上する。(特定環境保全公共下水道に接続)

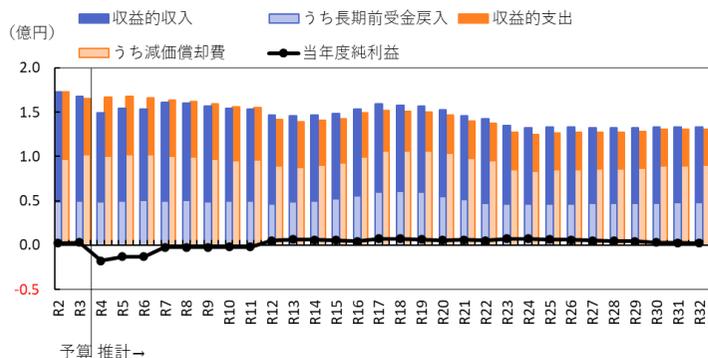
4. 経営の基本方針

限られた財源の中で、適正な事業計画と財政計画を基に、農業集落排水事業の健全な経営を維持していくため、経営の基本方針として以下の事項を設定しました。

- ①効率的な事業執行（民間活用など）
- ②広域化検討を踏まえた施設規模の適正化
- ③負担の適正化と適正な使用料の検討
- ④水洗化の促進

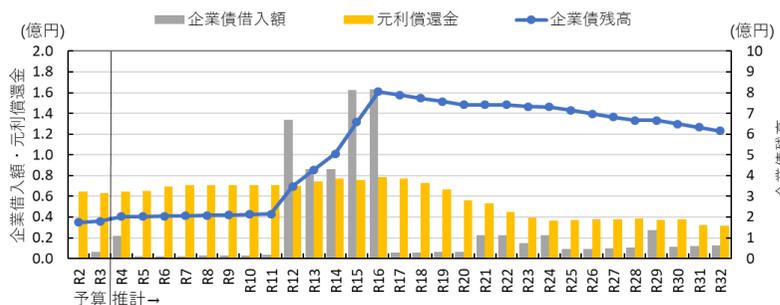
5. 農業集落排水事業の財政収支見通し

5-1. 収益的収支

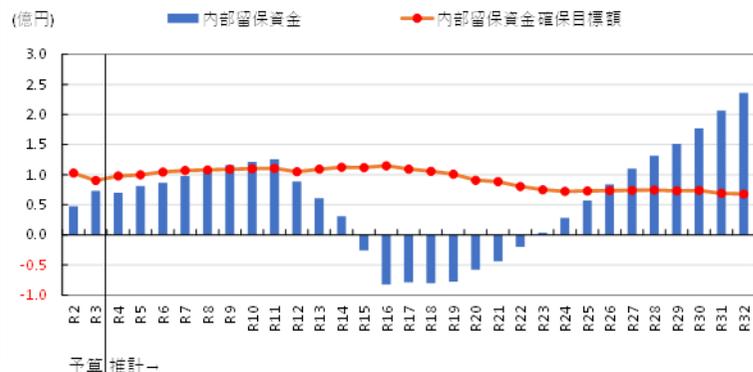


令和6(2024)年度までは人口減少による赤字が見込まれています。このため段階的な料金改定を行い、使用料収入の増収を図ります。これにより、令和12(2030)年度以降は黒字を確保できる見通しです。

5-2. 企業債残高・内部留保資金



企業債残高は、令和12(2030)年度の広域化に向けた投資により一時的に増加する見込みですが、その後は処理場の廃止により、建設事業が減少するため、減額に転じる見込みです。



内部留保資金は、広域化事業の期間中に、赤字となる可能性があります。このため、事務の共同化等によるさらなる経費削減とともに、料金改定検討、繰入金の確保等により、資金を確保していく必要があります。

6. 農業集落排水事業の課題

6-1. 人の視点

- ・職員数・技術力の確保
本市の下水道事業全体での職員数は減少傾向にあることから、今後も事業を継続していくためには、適正な職員数・技術力を確保する必要があります。

6-2. モノの視点

- ・施設利用率の向上
水洗化率の低迷などにより、本市の施設利用率は低い状況にあります。水洗化の促進により水洗化率の上昇を図るとともに、施設の統廃合・施設規模の適正化により、効率的な施設利用を目指す必要があります。

6-3. カネの視点

- ・使用料の適正化
本市の経費回収率は50%未満となっていて、汚水処理にかかる経費を使用料収入で賄っていない状況にあります。効率的な維持管理によるコストの削減等に尽力するとともに、適正な使用料を検討することが求められています。

7. 財政健全化に向けた取組

7-1. 投資に関する取組

管渠・処理場については広域化・施設の統廃合を踏まえたうえで、計画的に施設の更新・規模の適正化を図ります。

7-2. 経営基盤強化に関する取組

- ・広域化・共同化の検討
将来的に公共下水道への統合に向けた検討を進めていきます。
- ・官民連携
より効率的な維持管理によるコスト削減を目指し、官民連携の導入を検討します。
- ・水洗化率向上
市広報の活用や戸別訪問等により水洗化率の向上を図ります。

7-3. 料金その他の収入に関する取組

適正な使用料の検討を行い、将来的には公共下水道と農業集落排水事業の料金の統一化を目指します。

8. 計画の事後検証

計画期間である令和3(2021)年度から令和12(2030)年度において、経営戦略の進捗管理として、施策ごとに事業評価を毎年行います。また、事業評価による当初計画との乖離や新たな課題の発生などを踏まえて、概ね5年毎に経営戦略の総合評価を実施し、必要に応じて経営戦略の改定を行います。

行方市農業集落排水事業経営戦略 追記

定量的な業績指数及び目標年限

指標	令和2年度末	令和11年度末 (予測)	令和11年度末 (目標)
経費回収率	59.5%	57.1%	58%

【現状と課題】

経費回収率は令和2年度時点では59.5%となっており、今後は減少し、令和11年度末には57.1%まで減少することが予測されます。

行方市では、人口の減少が見込まれているため、今後は収入増加・支出を削減していくことが必要です。

収入増加のための具体的取組及び実施時期

経費回収率の目標を達成するため、以下の具体的な取り組みを行うこととします。

1. 使用料改定

5年に1度料金検討委員会を設置し、経費回収率向上のための使用料改定を実施します。令和5年度及び令和10年度の改定に向け、令和4年度及び令和9年度に委員会を開催します。

2. 接続推進活動

下水道の接続率・認知度向上を図るため、令和12年度まで毎年市報などに掲載するほか、HPの更新や下水道コンクールを継続して行います。

3. 接続補助金の推進・金額改定

接続率の現状を鑑み、接続補助金の金額の改定（補助上限の増加）を令和5年度までに実施します。補助上限額の増加により、未接続者の接続が見込まれるため、水洗化率の向上・使用料金の増加が期待できます。

支出削減のための具体的取組及び実施時期

経費回収率の目標を達成するため、以下の具体的な取り組みを行うこととします。

1. 維持管理費削減

令和3年度から、管路施設の清掃委託時に管路・マンホールの点検も同時に行い、下水道事業の管路清掃と合わせて実施するなど、経費削減に努めております。

2. 広域化・共同化

広域化・共同化計画を基に、玉造北部地区浄化センターを中期（令和15年から令和19年）に玉造浄化センター（公共）への接続を目指します。